

未経験者 ゼロから育成

20、30代 若手確保が順調



デジタコの点数に応じて部門ごとにエコドライブ賞を授与

藤川運輸（藤川博規社長、広島県坂町）は7、8年前から、未経験者をドライバーとして採用する方針に転換し、働きやすい職場づくりに取り組むことで若手人材の確保が順調だ。関東支店（埼玉県鶴ヶ島市）を含めてドライバーは70人だが、20代のドライバーが4、5人、また30代も多く、大型車へのキャリアアップを支援する体制も整備している。（江藤和博）

藤川運輸

キャリアアップ支援 大型免許など

同社は輸送品目のうち自動車部品と食品がそれぞれ4割を占めるが、保有台数は全社で55台とドライバー数に比べて少ない。自動車部品の輸送では、2人のドライバーが1台の車両に昼夜に分けて乗務し、労働時間短縮と効率化を進め、収益力を確保している。

食品などの輸送では長距離輸送も行うが、荷主の協力によるリードタイム延長などで「2024年問題」はほぼクリア。ドライバー1人当たりの運行回数は減って歩合給はややダウンしたものの大きな収入ダウンはなく、離職者は出ていないという。

久保田貴行・取締役本営業統括部長は「ドライバーの定着率は高く、現状で人材は充足している。24年度は関東支店を含めて4人採用したが、うち3人は未経験者。アルバイトから正社員として入社した22歳の

新卒社員も4人車で練習中だ。当社では4人車で入社し、フォークリフトや大型自動車免許を取得（会社で全額負担）してキャリアアップするパターンが多い」と説明する。

労働条件面では、4人車でも月給30万円以上と業界平均を大きく上回る水準を保証。また、自動車部品輸送は生産ストップで長期休暇を強いられることも少ないが、基本給を固定制にすることで手取り賃金の波動を縮小し、生活不安を解消している。

21年に働きやすい職場認証（運転者職場環境良好度認証）の一つ星、22年には県の健康づくり優良事業所五つ星認定を取得。健康管理では、隔月で開催する輸送品質会議で保健師による健康指導も行っている。

その一方で、環境・安全対策にも積極的で、デジタコグラフの点数に応じ、部門（長距離・中距離

・地場）ごとにエコドライブ賞を授与。また、自動車安全運転センターのSD（安全運転者）カードの色に応じてセイフティードライバ賞（スーパードライバ賞）3万円、ゴールド2万円、シルバー1万円、ブロンズ5千円、グリーン3千円も設けている。

こうした取り組みの効果

もあって、県を挙げて推進する無事故・無違反運動「トライ・ザ・セイフティinひろしま」で3期連続無事故を達成。また、損害保険の割引率も最高ランクを維持している。

野邑直樹・取締役本営業部長は「世代を超えてドライバー同士の仲が良く、

は困るが、節度を保ちながらうまくコミュニケーションが取れている。職場の雰囲気は良い」と自信を示す。最近では、会社の飲み会を敬遠する若者が多いと言わ

れるが、藤川運輸では、やるべきことを怠らないこと以外、出席率はほぼ100%。今後も社員同士の結束を強め、輸送品質を向上させていく。